

多血小板血漿療法についての説明書

1. はじめに

あなたにこれから提供する再生医療は、あなたの濃縮した血小板を皮下に注射することによって組織の修復を促す多血小板血漿注入療法です。これは健康保険で認められた治療法ではなく、主治医の責任とあなたの同意によって行われる治療です。

2. 方法

まず、あなたの血液を上肢などから採取し、その血液に含まれる血小板を、遠心分離機を用いて濃縮分離し、さらに細胞を増やす作用のある薬（線維芽細胞増殖因子、製品名：フィブラスト、科研製薬）を添加し、それを皮下に注射することによって、組織の修復、増生を促します。添加する薬は遺伝子組み換え技術によって我が国で製造されたもので、褥瘡や皮膚潰瘍の治療薬として承認されたものですが、外用薬のスプレー製剤として認可されたもので、注射薬としてはまだ承認されていません。投与部位に悪性腫瘍のある患者や、この薬に対し過敏症の既往歴のある患者は禁忌となっています。

3. 多血小板血漿療法の利点

自分の細胞を増やすことによって効果を得ることができる点で、異物を注入する他の治療法とは異なります。また、一時的に腫れや内出血は起こりますが、軽度で済む傾向があります。さらに副作用として、注射によって炎症や過剰な組織の増生が起こることがあります。

4. 他の治療法との比較

同じような効果をもたらす治療法として、ヒアルロン酸注入療法、自己脂肪注入療法などがあります。ヒアルロン酸注入療法は、すでに製品化されたヒアルロン酸製剤を局所に注射するものです。簡便で、腫れ、内出血は少ないのですが、十分な効果を得るためには数回の治療が必要です。また、徐々に体内に吸収されていきますので効果の持続には制限があり、繰り返しの治療が必要となります。ヒアルロン酸による過敏症の報告もあります。また、脂肪注入療法は患者さんの体から脂肪を吸引採取し、それを必要な部位に注入するものです。脂肪を採取するためにその部位も麻酔が必要です。注入された脂肪細胞は30-50%程度しか生着しないため、多めの量を注入することが必要になります。このため、腫れや内出血の程度が高くなります。また、注入した脂肪が壊死することもあります。最終的にこれらの治療法はほぼ同等な効果が得られますが、効果の持続期間、腫れ、内出血の程度等に違いがあります。

5. その他

治療費は治療範囲によって変わりますので、主治医に遠慮なくお尋ねください。

なお、この治療法を受けることはあなたの任意であり、拒否や同意を撤回することによって不利益を受けることはありません。また、あなたは治療を受ける前のいつでも同意を撤回できます。

この治療に関して疑問、質問がある場合はいつでも遠慮なく主治医にお尋ねください。

6. 個人情報の取扱いについて

あなたの個人情報は当クリニックの個人情報保護規定によって保護されます。